



2026.01.05. Monday.

ディーグラフ通信



ホームページの見直しココがポイント！

現在の企業活動に欠かせないWEBサイト（ホームページ）。使われている技術やトレンドは日々進化しており、時代に応じた見直しが必要だと言われています。

特にセキュリティやデザインは変化が速く、導入時に見直しを前提として基幹設計や改修の計画を立てておくことが重要です。

一定期間での見直しを前提に設計された

WEBサイトは柔軟性が高く運用維持のコストを抑えることができるため、長期間運用されることを考慮すると総合的に低コストで維持管理することが可能になります。

WEBサイトを見直すポイントは、主に以下の3点です。

- ①セキュリティ面（技術革新）
- ②コンテンツ面（社会的変化）

③デザイントレンド面（配色や装飾）

見直す時期はWEBサイト公開後3～5年経過したあたりが目安となります。

GoogleAnalyticsや Webalizer などの無料解析ツールを導入している場合には、そのアクセスログを細かく解析することで、修正すべきポイントやコンテンツの内容が明確な数字で判断できます。積極的にご活用ください。



ホームページリノベーション2つの柱

その1：セキュア接続（SSL化）

送受信中のデータを暗号化し、第三者による盗聴や改ざんから保護するための仕組みです。

以前は個人情報のやり取りが発生する部分のみ暗号化してましたが、ここ数年ではWEBサイトの常時SSL化が一般的になっています。

常時SSL化のメリットは以下の4点です。

①ホームページのセキュリティ向上
認証局がWEBサイト運営者の実を確認しているため、盗聴や改ざんだけでなく、第三者によるなりすましの脅威からも保護されます。

②表示の高速化
2015年に公開された次世代プロトコルであるHTTP/2が使えますので、より高速な表示が期待できます。

③SEO対策に良い影響を与える
Googleは自社のランキングシグナルの一つとしてhttps化されていることを公表していますので、検索結果の上位表示に良い影響を与えます。

④閲覧者に安心感を持ってもらえる
WEBブラウザに安全な接続であることが表示されますので、安心してサイトの閲覧を行っていただくことができます。

その2：レスポンスデザイン

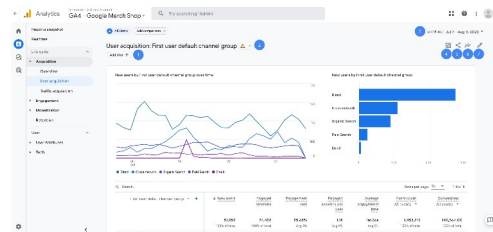
レスポンスとは、ユーザーが閲覧に使用するPCやスマートフォン、タブレットなどのデバイスの画面サイズに合わせて自動的に表示を最適化させる仕組みのことです。

従来であればPC用とスマートフォン用等の複数のコンテンツを準備しメンテナンスする必要があったのですが、レスポンスの場合は管理が1か所で済むため、工数が大幅に削減できます。

また、将来的に画面サイズの違う新しい閲覧デバイスがリリースされた場合でも、柔軟な対応が可能になるなど操作面でも大きなメリットがあり、長期間に渡って設計通りの一貫性のあるUI/UXを提供することができます。

SSL化（https化）やレスポンスデザインは、一般的な技術として認知されてから約10年ほどが経過しています。ホームページの制作から10年以上経過している場合には、リメイクやリノベーションを検討する時期に差し掛かっていると言えます。

SSL化はサーバーやプログラムに関するノウハウも必要になります。ホームページのリノベーションをご検討の際には、クラウドシステムの構築経験のある会社に相談されると、ノウハウを持っているので安心です。



ランサムウェアによる企業活動の被害がニュースを賑わすことが増えてきました。ネット社会に生きる私たちにとって、他人事ではない重要な話題です。

ランサムウェアによる被害は①業務停止による損失②金銭的損失③信用失墜による損失の三つが主なものです。

対策は基本的な事ばかりで①データのバックアップ②OSやソフトウェアの最新化③パスワードなど認証の強化の3点を徹底することが大切です。

万が一感染が疑われる場合には、対象PCをネットから切断し、専門の機関へ相談してください。金銭要求などに従わないことが重要です。



🛡️ 考えてますか？セキュリティ対策



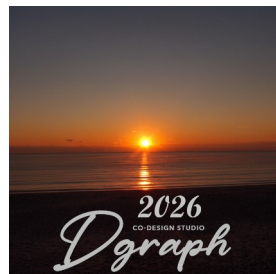
本年の干支は丙午。丙も午も火の性質を持つことから、停滞を打ち破る力や厄を焼き払う力を秘めた年として期待されています。

丙午の火には社交性を高める力があると思われています。自分の考えや気持ちを言葉にして周囲に伝えることが吉とされるそうです。

逆に力が高まり過ぎて制御できない、衝動的に動いて必要のない争いを生む必要がないように注意が必要です。

弊社には午年生まれの社員が二人在籍しています。新たな挑戦に情熱的に取り組むべき一年になると覚悟しております。

丙午の火の力を借りながら、共に激動の一年を勢いよく駆け抜けていきましょ！



今月のヒトコト